

講義名	ブラッシュアップ中国語		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>すでに言語と社会、中国語A、中国語Bなどで学んだ初歩の中国語にみがきかけ、さらに新しい語彙や文法を積み重ね、中国語の基礎をよりまとまりのあるものに仕上げていきます。レベル的には、中国語の初級から中級への橋渡しの位置づけになります。会話だけでなく講読の内容もありますので、中国語の総合的なレベルアップが期待できます。中国語を学び直したいと思っている上級生のみなさんの受講も大歓迎です。</p> <p>オンライン授業の期間中は、Live授業と課題提出のミックスで授業を進めていきます</p>

到達目標
中国語検定4級受験に必要な文法を身につける

提出課題
オンライン授業の期間中は、毎授業、課題を出します。課題の内容は授業内でお知らせします。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
次回の授業で講評します

評価の基準
<p>次の点を総合的に判断します</p> <p>平常点（出席状況、授業態度） 30%</p> <p>中間試験、期末試験 70%</p> <p>オンライン授業の期間中は、Live授業出席と課題提出とを総合的に判断します。とくに課題提出は評価の大きな部分を占めますので、毎回忘れずに提出してください</p>

履修にあたっての注意・助言他
この授業は、言語と社会、中国語A、中国語Bなどを履修し、すでに中国語の基礎を学んだ人を対象としています。なお中国人留学生は受講できません。テキストは必ず各自購入して、授業に臨んでください。

教科書
.さあ、中国語を学ぼう！ 会話・講読。 白水社 竹島毅・趙昕 2500+税

プリント資料及び参考文献
オンライン授業の期間中は、毎授業、ワークシートを配布します。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 第6課 会話：授業は終わりましたか 3. 第6課 講読：カラオケ 4. 第7課 会話：ご飯食べました？ 5. 第7課 講読：海へ行く 6. 第8課 会話：富士山に登ったことはありますか？ 7. 第8課 講読：北京がすき 8. 第9課 会話：何をしえいるのですか？ 9. 第9課 講読：運転を習う 10. 第10課 会話：どんな趣味をお持ちですか？ 11. 第10課 講読：コンパ 12. 第11課 会話：このくつはどうですか？ 13. 第11課 講読：アニメ 14. 第12課 会話：誕生日おめでとう！ 15. 第12課 講読：服を買う

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>（授業前）新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を別途配布します。単語帳は自宅で完成させてください。また、次の授業で学ぶところにざっと目を通すことをお勧めします。それをするだけでも、授業の理解度が格段にアップします。（約1時間半～2時間）</p> <p>（授業後）復習はしっかりと。語学は積み上げ方式です。毎回授業で学んだことを自宅でもう一度振り返り、しっかり理解していく必要があります。授業時間内にできなかったドリルは宿題とします。（約2時間～2時間半）</p> <p>オンライン授業の期間中は、予習重視で授業に臨んでください。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考